

知多火力発電所7, 8号機建設計画 計画段階環境配慮書についての 部会報告(案)

はじめに

知多火力発電所7, 8号機建設計画 計画段階環境配慮書(以下「配慮書」という。)について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

事業者は、以下の事項について十分に検討した上で、事業計画を策定するとともに、環境影響評価方法書(以下「方法書」という。)以降の図書を作成する必要がある。

1 全般的事項

- (1) 配慮書において設定された複数案を絞り込んだ経緯及びその内容について、方法書において丁寧に記載すること。
- (2) 事業計画の検討に当たっては、国内外の環境の保全に関する最新の知見を踏まえ、環境影響をできる限り回避、低減すること。

2 大気質

既設の発電設備に比べ煙突の地上高を低くする計画となっているため、大気質について、ダウンウォッシュなどによる影響も含め、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。

3 その他

- (1) 方法書以降の図書の作成に当たっては、住民等の意見に配慮するとともに、分かりやすい図書となるよう努めること。
- (2) インターネットの利用により公表する図書について、印刷できるようにすることや、縦覧期間後も引き続き閲覧できるようにすることなど、住民等の理解促進及び利便性の向上に努めること。

検 討 の 経 緯

年 月 日	会 議	備 考
令和2年10月26日	審 査 会	知事からの諮問 配慮書の内容の検討 部会の設置及び付託
令和2年11月20日	部 会	配慮書の内容の検討 住民意見の概要等の検討 関係市長意見の検討 部会報告の検討

愛知県環境影響評価審査会 知多火力発電所部会構成員

大石 弥幸	大同大学情報学部特任教授
酒卷 史郎	元名城大学理工学部教授
田代 むつみ	名古屋大学未来社会創造機構特任講師
富田 寿代	鈴鹿大学国際人間科学部教授
二宮 善彦	中部大学工学部教授
橋本 啓史	名城大学農学部准教授
檀田 珠実	名古屋芸術大学芸術学部教授
増田 理子	名古屋工業大学大学院工学研究科教授
吉永 美香	名城大学理工学部教授

◎部会長 ○部会長代理

(敬称略、五十音順)